



Japan.
Tax-free
Shop

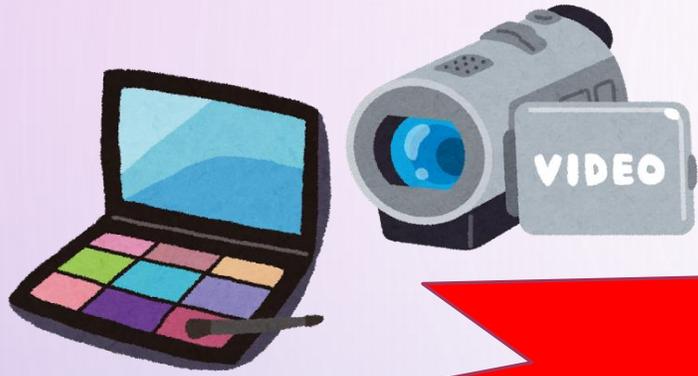
酒蔵免税セミナー

酒蔵なら消費税と酒税のダブル免税で集客&売上アップを！

ジャパンショッピングツーリズム協会
おもてなし事業者支援部

2017年9月22日

来年度の税制改正要望での消費税免税は・・・



消耗品と一般物品の合算を可能に！

※ 現状では要望段階であり、決定ではありません

- **消耗品と一般物品の判別が困難というのが多くの免税店の苦勞が解決**
- **金額は合算で5,000円以上**
- **一般品も消耗品と同様に特殊包装が必要**
- **購入日から30日以内の国外への持ち出しが必要**

酒蔵でのダブル免税とは？

アルコール醸造地域へのインバウンド誘客の国策

消費税（本体価格の8%）

+

酒税（1klにつき8~40万円）

例： 缶ビール350ml×24本の商品価格5,000円+消費税400円=5,400円



消費税400円が免税になり、**5,000円**での販売

価格差は**1,848円**！



酒税**1,848円**(※1)が免税になり、**3,152円**で販売可能

(注) 販売価格が5,000円にならないと免税にはなりません。

※1 ビール税額220,000円(1klあたり)×350ml×24本

販売店のインバウンド実例

BARREL VALLEY
PRAHA & GEN



- 2014年免税開始
- 鹿児島県のビール・焼酎を製造販売
- お酒以外はウインナーなど肉の加工品、お菓子類、ボヘミアングラス、陶磁器、バッグが人気



免税販売にはPOSシステムを免税対応にはしていません。売店中央のキャッシャーで課税で清算、その後免税書類作成のカウンターに移動して、消費税を払い戻して消耗品包装をしています。免税専用のPOSはとても高額なので、できるだけ経費を抑えられるようにやっています。酒税免除は認可されたので、準備ができ次第開始します。

酒造会社の消費税免税対応実例



免税件数は？

「開始当初は月間30件だったが、現在は300件に拡大」

どのような準備？

「免税用包装トレーニング、外国人スタッフの増強」

現在の免税状況は？

「免税するのは全体人数の6%程度」

「免税販売額は全体売上の25%。多い月で35%」

「免税のお客様単価は一般の5~6倍と高い」

免税の効果は？

「高額商品の販売が伸びた」

「インバウンド効果が話題を呼び、結果的に日本人客の増加にもつながった」

「消費税を支払うこと自体のクレームがなくなった」

酒類別酒税額一覧

区分	税率(1klあたり)	アルコール分1度あたりの加算額
発泡性酒類 ビール 、発泡酒、その他の発泡性酒類（ビール及び発泡酒以外の酒類のうちアルコール分10度未満で発泡性を有するもの）	220,000円	
発泡酒（麦芽比率25～50%未満）	178,125円	
発泡酒（麦芽比率25%未満）	134,250円	
その他の発泡性酒類（ホップ等を原料としたもの（一定のものを除く）を除く）	80,000円	
醸造種類 清酒、果実酒、その他の醸造酒（その他の発泡性酒類）を除く	140,000円	
清酒	120,000円	
果実酒	80,000円	
蒸留酒類 連続式蒸留焼酎(甲類) 、 単式蒸留焼酎(乙類) 、ウイスキー、ブランデー、原料用アルコール、スピリッツ（その他の発泡性酒類を除く）	(アルコール分21度未満) 200,000円	(アルコール分21度以上) 10,000円
ウイスキー・ブランデー・スピリッツ	(アルコール分38度未満) 370,000円	(アルコール分38度以上) 10,000円
混成酒類 合成清酒、みりん、甘味果実酒、リキュール、粉末酒、雑酒（その他の発泡性酒類を除く）	(アルコール分21度未満) 220,000円	(アルコール分21度以上) 11,000円
合成清酒	100,000円	
甘味果実酒・リキュール	(アルコール分13度未満) 120,000円	(アルコール分13度以上) 10,000円

酒税免税販売の注意事項

売店経営とアルコール製造が同一の法人であること

大手に多い

製造所と同一または近接する売店であること

消費税免税店の登録があること

品物ごとの酒税額を認識しておくこと

酒税は総額表示

自社商品のみが酒税免税対象であること

自社商品なら
他の醸造所のものでもOK

酒税を免除して消耗品合計額が5,000円以上になること

酒税免除する場合は消費税も必ず免税とすること

酒税だけ免除は不可

税務署への酒税納税申告書は毎月提出すること

消費税は年に1回

酒類の免税用梱包

「プラスチック製の袋」又は「ダンボール製等の箱」が必要です

袋による梱包(専用袋有り) ※封入時間は2~3分

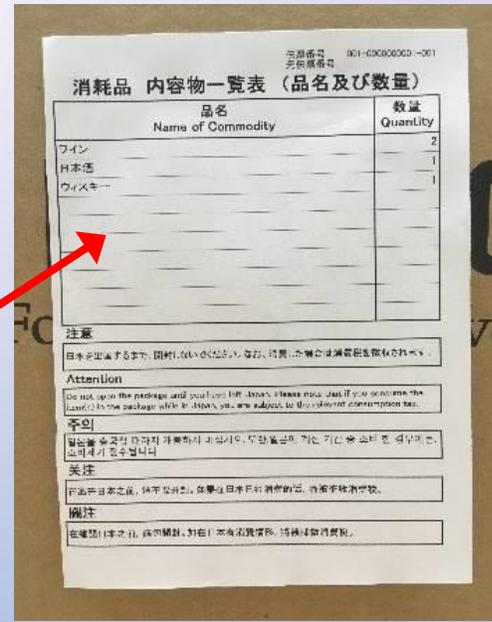
- ① 専用の袋を用意 (持ち手の有無も選択可能)
- ② 商品を袋に入れ、密封包装



テープのセロハンを剥がせば簡単に封が可能

箱による梱包

- ① 箱に商品を詰める (専用の箱は無し)
- ② 品名・品名ごとの数量、注意事項を記載
- ③ 専用テープで密封



袋のサイズは大・中・小

＜参考情報＞
消耗品梱包資材販売事業者

右記通信販売サイトにて購入可能です。

◆ 免税店.jp

<https://taxfree.jp/goods/>

◆ 全国免税店協会

<http://zenmenkyo.jp/material/>

免税店向け支援サイト「免税店.jp」

免税店.jp

検索



免税店.jp produced by JSTO

3月16日(木) 14:30~16:30 JSTO 2016年度プロモーションおよびJSF 2016-17 Winter報告会を開催します。

無料会員登録 ログイン 検索

免税店の基礎知識 免税店になるには? 免税店向け情報 免税店.jpのサービス よくある質問

免税資材の購入なら! Japan Tax-free Shop

PROSPE

免税資材 人気商品

セキュリティ バッグ 2C(キティ)

開封厳禁 注意書きシール 1C(キティ) 4枚×25シート

TAX FREEを もっと簡単、スマートに 全国のあらゆる小売業界で選ばれています

✓ コツが要らない 正確なパスポート読取! 現在の実績台数 2000 1000

✓ 申込から3日で すぐ使える!

J-Tax Free システム

会員限定コンテンツを見る

会員登録していただくと、免税店.jpの限定コンテンツをチェックできます。メールマガジンを受取ることもできます。

無料会員登録 ログイン

セミナー・イベント情報

6/22(木) 14:00~16:30

おすすめのコンテンツ

免税店とは何か?	よくある質問	免税になる対象品目
免税店の販売方法	免税店の選択	無料会員登録

メルマガ

免税店になるには?

免税店になったら?

ツールダウンロード

免税ツール通販

免税店実務取材

Q & A

ソリューション提供

各地域の免税対応は JSTOにお任せください



Japan.
Shopping!

(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会

<http://jsto.or.jp/> 03-6435-9116 info@taxfree.jp

～本日のプレゼン担当～

ジャパンショッピングツーリズム協会 おもてなし事業者支援部

免税担当ディレクター

池田 直久

n.ikeda@jsto.or.jp



(株)J&J事業創造 TaxFree事業本部

<http://j-taxfree.jp>

営業開発プロデューサー



● 外国人旅行者向け免税制度に関する協議会

副事務局長

● 全国免税店協会

事務局次長

<http://zenmenkyo.jp/>